

# 令和3年度 “「長久手市役所の仕事」通知表” の作成 ～長久手市行政評価・外部評価～

## 21 清掃センター運営事業

くらし文化部 環境課

まちづくり、まずは笑顔でこんにちは

長久手市はあいさつ運動に取り組んでいます

1

### 1 事業概要

#### ◆事業名

清掃センター運営事業

#### ◆事業の開始の背景、経緯等

- ・平成11年6月策定の第4次長久手町総合計画において、清掃センターの建設を掲げる。
- ・平成19年清掃センター（ながくてエコハウス）開館
- ・平成29年11月出張ながくてエコハウス開設

2

## 2 事業の実施体制

### ◆組織体制、人員

#### ○ながくてエコハウス

(一社) 長久手市シルバー人材センターや障がい福祉事業所(現在は2社)に管理運営を委託。

【開館時間】午前9時から午後5時まで(月曜休館)

【人員】平日2名、土曜・祝日3名、日曜4名

#### ○出張ながくてエコハウス

(一社) 長久手市シルバー人材センターに管理運営を委託。

【開館時間】午前9時から午後3時まで(平日休館)

【人員】土・日曜・祝日2名

3

## 3 事業目的等①

### ◆事業内容(どのような事業なのか)

市民が清掃センター(エコハウス)を利用するにあたり、以下を実施。

①清掃センター(エコハウス)の適切な維持・管理・運営

②資源回収ステーションでの資源回収、リユース倉庫での不用品(制服、子ども服、図書等)の回収配布

### ◆事業対象(誰、何を対象にしているか)

市民

4

### 3 事業目的等②

◆事業意図（対象をどのような状態にしたいか）

環境への関心を高め、ごみの減量及び資源化に取り組む。

◆事業を構成する事務事業【今後の方向性】

① 資源回収拠点事業

### 4 成果推移

◆成果指標（単位）

資源化率（%）

◆指標の設定根拠

資源を回収することで、ごみの減量につながる。

◆数値目標の根拠

資源回収量 ÷ ごみ排出量

## 5 これまでの振り返り

### ◆目標達成状況・分析コメント

令和元年度から、古紙・アルミ・ペットボトル等を自主回収している市内店舗に資源回収量を照会し、実績に加えたため、目標値を達成できた。一方、学生や単身世帯等のごみ減量意識が低いと思われるため、そういった市民の意識改革により、さらに資源化率は上がると分析する。

### ◆活動エピソード

H29に羽毛ふとん、H30に水銀体温計・水銀血圧計、R1に小型充電式電池の受け入れを開始し、受入品目を増加した。また、H30にリユース倉庫で制服のリユースを開始した。H29には、卯塚緑地公園内で出張ながくてエコハウスを開始した。

### ◆改善ポイント

エコハウスのリユース倉庫の充実や、地域における地域管理の資源回収拠点を設置しそれを増やしていくことが必要。リユース倉庫の取扱品目の検討、地域（自治会やまちづくり協議会）への働きかけをしていきたい。

7

## 6 事業の今後

### ◆事業の今後の方向性

市民のエコに対する意識は年々高まってきており、エコハウスの利用者が増加していることから出張エコハウスを開設したが、今後は地域による資源回収拠点の設置及び管理運営の仕組みを構築し、それを増やしていく。

### ◆事業の中長期の目標

10年程度先には、まちづくり協議会や連合会・区会とも連携し、各小学校区に1か所以上、地域による資源回収の仕組みを作り、地域主体のごみの減量化・資源化を推進していきたい。また地域拠点に人が集まることにより、会話やつながりが生まれ、本市の地域コミュニティ強化につなげていきたい。

8

## 7 事業のまとめ

### ◆事業の課題など

地域が設置し、管理運営を行っていただくよう市が委託する資源回収拠点を増やしていきたいが、地域で管理運営する人材が必要となるため、実施団体の確保が課題。

### ◆外部評価実施者に助言をもらいたいことなど

地域コミュニティのつながりを形成する取組にしたいと考えているが、アイデアがあればご助言いただきたい。